

請願第1号

「指定ごみ袋の導入」ストップ 市民の声を取り入れたごみ減量を求める請願

紹 介 議 員  
山 田 千 枝 子

## 「指定ごみ袋の導入」ストップ 市民の声を取り入れたごみ減量を求める請願

### 【請願趣旨】

いま世界的に地球環境を守るため、地球温暖化ストップ・CO<sub>2</sub>の排出削減が呼びかけられています。日本政府も2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにするとしています。そのためには2030年までに半減することが必要です。

向日市のごみ減量は、広範な市民の声を取り入れ進めるべきです。

向日市は「指定ごみ袋制度導入についての基本方針案」を策定しパブリックコメントを実施した結果、59人から124件の意見が寄せられたとしています。

市民の声として、「子どもたちにより良い環境を残すためにごみの減量化を進めてほしい」「今はプラスチックごみを減らすのが世界の流れです。ごみの分別などは行政と市民が知恵を出し合い、持続可能なごみの政策を」「ごみ袋の有料化前にごみを減らすために市民と一緒に考え、色々やってみる姿勢がほしいです」「働き方も多様化しているので、24時間出せるステーションを増やしてください」「古紙の回収も資源につながるので、市として施策を実施してください」「向日市として製造元責任を国に求めるなどの努力をしてください」など積極的な意見が多数寄せられています。

是非、ごみの減量へ市民が積極的に参加・協力できるように以下の通り請願いたします。

### 【請願内容】

- 指定ごみ袋導入をストップし、市民の声を聞いて減量を進めてください。
- 資源ごみの出し方を（ステーションの増・回数増等）市民の出しやすい方法にしてください。

令和3年6月1日

請 願 者

向日市議会議長  
天 野 俊 宏 様